

塩崎 雄 大議員



(一般質問)

1 事業者の労働力不足について

ついて

2 観光振興について

3 LOVE SAIJO

ポイントについて

### 労働力不足解消のため

#### 事業者の支援を！

**問** 若者の市外流出や大手企業への就職などにより、地元企業では人材不足に陥っており、原油高、円安などの影響も重なり、経営状況が圧迫されている。

特に、宿泊業や飲食業では全国的にも労働力不足が深刻な状態であるが、どのような対策をしているのか。また、外国人労働者の受け入れ支援により、労働力不足の解消に

取り組む考えはあるのか。

**答**

企業の人材確保に向けた主な取組としては、高校生と企業とのマッチングを目的とした就職フェア、大学生などを対象とした合同企業説明会を開催している。

また、人材採用に係る相談窓口機能をはじめ、各種セミナー、学生向けインターンシップの開催、企業情報の発信力向上などにより市内事業者の採用力強化に努めている。外国人労働者の確保については、人手不足解消の有効な手段の一つであると考えているが、外国人労働者だけでなく、時代に即した労働力確保策を研究していきたい。

### 観光資源となる

#### 企業の誘致を！

**問**

多くの観光客が訪れていたアサヒビル四国工場が閉鎖した中、新たな観光資源が必要と考える。

他市では、集客力のある店舗に人が集まり、観光資源の一つとなっていることから、本市においても、観光資源となる企業誘致に取り組む考えはあるのか。

**答**

新たな企業立地については、雇用創出や税収増が期待できることから、企業誘致に積極的に取り組んでいるところである。

また、観光資源にもなりうる企業の立地については、多数の誘客も見込まれ、地域経済への効果は特に大きいものと認識している。

現状、企業からの問い合わせは一定数あるが、企業が求める広大な用地がないことや、法令規制等により、新たな企業立地につなげていない。

今後、用途地域の見直しなどを進め、引き続き、県との連携による都市圏でのPR活動などにより、企業誘致に積極的に取り組んでいきたい。



新しい仕掛けで誘客を図るフォレストアドベンチャー

## 自民クラブ

井上 浩 二議員



(一般質問)

1 ヤングケアラーについて

### ヤングケアラー

#### 相談窓口の開設と

#### 家庭生活の支援を！

**問**

ヤングケアラーの問題については、家庭内のデリケートな問題をはらんでいるため発見されにくいのが、本市の実態を調査しているのか。

また、子どもが家事や介護などを日常的にせざるをえない原因となる問題については、福祉・介護・医療・教育などの各分野にまたがるため、どこに相談してよいか分からない。

い。気軽に相談できるヤングケアラーSOS窓口を開設する必要があるのではないか。

**答**

令和4年度、県が小学5年生から高校生までを対象にアンケート調査を実施し、調査の中で、本人が教職員へ情報の開示を希望した回答者について、市がアフターフォロー調査を行ったが、深刻な支援を要する児童・生徒はいないことが確認された。また、ヤングケアラーに特化したものではないが、全校で毎月生活アンケート調査を実施し、子どもたちの心や環境の変化などの早期把握と相談対応に努めている。

先進事例では、SOS窓口を設置しているところもあるが、本市においては、ヤングケアラーや虐待など、子どもたちの家庭に起因する諸問題については教育部門と子育て部門が連携して対応する体制を構築している。なお、先進事例では、要支援と判断された児童・生徒に対し支援員を派遣する制度を実施しており、こうした事例も参考にしながら、更なる強化を図りたい。